

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「日置市立鶴丸小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

「力をつける学校，安全な学校，地域の学校」，「一人一人『出番』『居場所』があり，『心を育てる』学校」，「命をあずかり，命を守り，命を育て，命の花を咲かす学校」

年間活動計画

7月17日（火）

第1回信頼される学校づくり委員会

11月21日（水）

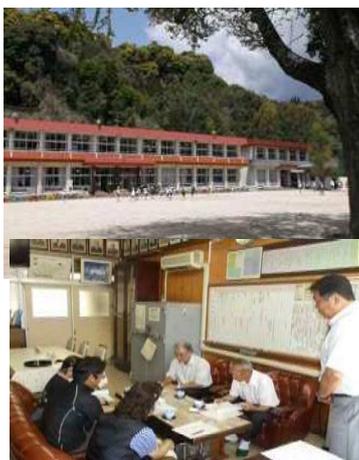
第2回信頼される学校づくり委員会

2月22日（金）

第3回信頼される学校づくり委員会

構成メンバー

- ・地区公民館代表
- ・地域民生委員代表
- ・地域住民青少年育成者代表
- ・保護者代表
- ・校長，教頭，学校職員2名



委員からの意見・要望

- ・ 児童だけでなく，保護者や地域住民みんなが気持ちのいいあいさつができる校区を目指したい。
- ・ 教職員は，児童の健全育成に関する重責を自覚して，細心の注意を払って服務規律に取り組んでほしい。
- ・ ボトムアップの取組の充実に期待したい。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標：自分・子ども・家族・そして県民みんなの幸せを意識した言動を心がけよう

- ボトムアップ方式による服務規律の校内研修（各学期1回実施）
 - 1学期：「体罰とハラスメント」について（7月20日）
 - 短時間版ワークシートを活用した事例研修
事例に関する意見交換，関係法規，懲戒処分，文科省通知文による確認を行い，自覚を深めた。
 - 映像を視聴した事例研修
動画「あかるい職場応援団」の一部を視聴し，パワハラに該当する例やしない例を確認し，日頃の信頼関係が大切であること，風通しの良い職場づくりについて再確認した。
 - 人権教育に関する校内研修（8月21日）
鹿児島教育事務所の指導主事を講師に招いて，アイスブレイキング，「自分も相手も大切に伝える伝え方」に関するロールプレイング，「チーム学校でつくる人権教育」の推進等，みんなの幸せにつながる学びができた。
 - 2学期と3学期も，昨年同様，喫緊の課題等を考慮した研修を実施する。
- 個人ファイルの活用
「服務規律に関するチェックリスト」プリントを作成し，毎月1回，職員会議の際に配布，チェックし，個人ファイルに綴じている。



今後の課題

- ボトムアップ方式による研修が定着し，職員の意識が高まってきている。昨年度から交通違反等もない。高い意識を維持，継続できるように取組を工夫していきたい。

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「指宿市立柳田小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

校区で取り組む『チーム柳田』で不祥事ゼロ！
～学校・保護者・地域がそれぞれの役割を果たして～

年間活動計画

- 5/31 第1回委員会
・説明・演習・研修体験
・協議①体罰・ハラスメント厳禁
8/21 第2回委員会
・職員研修参観
・協議②飲酒運転等厳禁
2/15 第3回委員会
・協議③信用失墜行為厳禁

構成メンバー

- 校区公民館長 ○女性団体長
○民生委員代表 ○PTA 会長
○公民館主事 ○有識者



委員からの意見・要望

- ・ 教職は聖職だからと気負わず、大人として子供をどう導くかを基本にしたい。
- ・ 休日は趣味等で十分にストレス発散する。
- ・ 体罰ゼロを目指すには、児童に触れない指導を心掛けることが大切である。
- ・ 職員間でも保護者に対しても、まずは相手の言い分をしっかりと聞く姿勢で向き合うようにしたい。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標 「まずは、一人一人が信頼される職員に！」

【「信頼される学校づくりのための委員会」委員による服務規律職員研修の参観】

- 1 日時
平成30年8月21日 13:10～14:20
- 2 研修内容 飲酒運転シミュレーション「さあ、どうしますか。」

(1) 個人

ケース①「運転手が飲酒？」
・ 酒席の帰りに乗せてくれた PTA 役員さんからお酒の臭い？さあ、どうする？

ケース②「ノンアルコールのつもりが！」
・ ノンアルコールで参加した飲み会の帰りの高速道路車中でハンカチからお酒の臭いが？さあどうする？

(2) グループ

「絶対に不祥事を出さない酒席の企画書作成」

- 3 参観後の委員からの意見等
 - ・ 誰の身にも起きそうな切実な内容がよかった。
 - ・ 飲酒しない人の思いや立場に立った研修はさらに進めていくべきだ。
 - ・ 職場や仕事にかかる酒席だけでなく、プライベートな飲酒についても職場全体でかかわる姿勢が必要であると考えた。
 - ・ ストレスや過労など、正しい判断ができないような状況にならないように、同時に業務改善も積極的に進めて欲しい。



今後の課題

- 関係機関と連携して、より専門的なアドバイスができるようにしたい。
- 学校職員の業務改善に対して、地域や保護者の理解と協力を得るようにしたい。

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「さつま町立鶴田小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

- 「服務規律違反0」子供を善導する教職員としての矜持を守る「チーム鶴田」
- 学校・保護者が一体となって創る「一人一人が輝く学校」

年間活動計画

- 第1回 7月23日(月)
年間の取組説明 意見交換等
- 第2回 11月1日(木)
上半期の取組説明 授業参観
意見交換等
- 第3回 2月18日(月)
年間の取組の振り返り
次年度の課題 意見交換等

構成メンバー

- 地区公民館関係者(3名)
- 主任児童委員 ○ PTA会長
- 校長 ○ 教頭



委員からの意見・要望

- 服務規律の厳正確保のために学校が一丸となっていると感じる。
- 飲酒運転等の防止は職場の雰囲気作りが大切。車通勤の先生方が多いので、雰囲気の高揚に継続して取り組んでほしい。
- 先生方と気軽にコミュニケーションできる雰囲気があり、明るい学校だと感じる。
- 地域行事への先生方の参加をより増やしたいという思いもある。
- 先生方のストレス蓄積は、子供の指導に影響する可能性があるため、気を配ってほしい。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標(「信頼される学校づくり」のための合い言葉)

- つ** 常に意識 **る** ルール無視は **だ** ダメ絶対!
す 素敵な職場 **わ** わたしもあなたも大切に **や** やましい心を捨てて **ま** 毎日晴れやかに

1 服務標語(合い言葉)の作成

全職員で案を出し合い、知恵を絞り、「つるだ」「すわやま」を頭文字にした標語(合い言葉)を作成した。完成後は、校内に掲示するとともに、バスケースの大きさにしたカードをラミネートして配付し、常に携帯することで、意識を高めるようにした。



2 年間3回の服務研修の充実

具体性があり、職員の心に届く研修になるよう毎回工夫している。夏季休業中の研修では、映像資料「もうだれもあなたを信じない～全てを失う飲酒運転の代償～」(福岡県警作成)を視聴した。

<職員の感想から抜粋>

- 「少しだけなら」という甘い考えで大勢の人に迷惑をかけてしまう。飲酒の機会には、自分が気を付けるのはもちろん、一緒に飲む人にも声をかけていきたい。
- 服務規律違反が、こんなにも周りの人を傷つけたり、信用を失ったりしてしまうものなのだと改めて感じた。自分は絶対にしないし、自分の周りの人にも絶対にさせないようにしたい。

3 その他の取組

- (1) 新聞記事の活用(感想欄を設け、各自記入する。)
- (2) 「研修の感想」への管理職からの一言コメント
- (3) 出勤簿前の服務規律日めくりカレンダー(右写真参照)
- (4) 服務の日(毎月26日)・定時退校日(毎週金曜日)の板書と声かけ
- (5) 風通しのよい職員室・職場作り(疲れたとき、「疲れた」と言える人間関係)



今後の課題

- 標語作成等で高まった職員の意識が持続できるように研修や指導を工夫していく。
- 職員のストレス軽減のために、コミュニケーションや人間関係を更によりよくする努力をする。

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿屋市立笠野原小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

子どもの個性を大切にし、確かな力を育てると共に、地域に開かれ、保護者や地域住民に信頼される学校

年間活動計画

第1回

- 会の設置目的及び内容説明
- 学校経営及び活性化の取組

第2回

- 教職員の資質向上
- 服務規律厳正確保等の取組

第3回

- 本年度総括及び次年度計画

構成メンバー

P T A会長、同副会長、町内会会長、民生児童委員、スクールガード、商工会代表、高齢者クラブ代表、P T A会長経験者、学校職員



委員からの意見・要望

- 町内会行事に今後も多数の児童や先生に出席してほしい。
- あいさつがよくできている。礼儀の指導が大事である。地域で子どもたちを見守りたい。
- 保護者の意見を今後も継続して聞く工夫が大事である。
- 学校内での教師の忙しさは見ていないが家でも仕事をしないといけないことを初めて知った。一緒にできることや協力できることを考えたい。
- 児童数増への対応が必要

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の間 伝える・伝わる・響き合う —— 学校・家庭・地域の連携
結果責任・説明責任を果たし、持続可能な環境を作ろう。

「モラルの向上」

- 服務規律ファイルの活用
4月に全職員のファイルを新調した。表紙に「輝く瞳～あなたとわたしの」と入れ、自分の周りの様々な「あなた」を意識付けている。
- 本会の毎回の報告書や授業参観時の保護者感想等を職員に示し、期待や励ましの言葉を職員に伝えている。また、教諭以外の職員の工夫や努力を各種会合等で紹介し、組織の一員としての自覚や所属感を高めている。

「より開かれた学校づくり」

- P T A・地域行事への積極的参加
十五夜大綱引き、三世代グランドゴルフ、P T Aバザー等に多数の児童・職員の参加を呼びかけ、歌や踊りで行事を盛り上げている。
- 地域と一体となった安全対策
緊急時の集団下校に町内会安心安全ネットワークと連携し、児童引率や街頭指導に防犯ネームを付けて協力していただいている。
- 英語教育への理解推進
鹿屋市が特区として取り組んでいる英語授業に児童と一緒に地域住民が参加している。全学年の授業に参加を募っているところである。



高齢者授業参観



英語授業参加

「働きやすい環境づくり」

- 衛生推進委員会の充実
実施回数を増やすとともに、職員へのアンケートによって、睡眠時間や自宅での執務時間、悩みや満足度などをチェックし、対策を検討している。結果概要を本委員会でも伝えた。

今後の課題

- 本委員会を核として来年度は学校運営協議会を設置し、コミュニティースクールに移行する。

「西之表市立榕城小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

- 子どもが安心して安全に楽しく学び合う学校
- 美しい環境で、あいさつの飛び交う学校
- 一人一人が生き生きと活動する学校
- 保護者や地域に信頼され、地域に開かれた学校

年間活動計画

- 第1回会議 6月11日
 - ・趣旨説明、学校の現状説明
 - ・8月の不祥事防止強化月間の取組
- 第2回会議 11月1日
 - ・1学期の学校評価と改善策
 - ・12月の不祥事防止強化月間の取組
- 第3回会議 2月18日
 - ・今年度の反省と次年度の改善策

構成メンバー

- 校長、教頭、教務、市教育委員、
校区長、PTA会長、民生委員、
市子ども会連合会長 計8名



委員からの意見・要望

- 1 子どもたちの挨拶がとてもよい。観光客や外部の方から称賛の声があった。
- 2 不祥事を起こさない(悪いことをしない)ためには、お互いを知ることである。そして、お互いに教え合う関係をしっかりとつくるのが大切である。
- 3 学校は教育するところである。先生は、子どもを導く存在。地域や保護者は子どもが素直に聞くように応援したい。
- 4 教室や職員室等に空調がないのはどうしてなのか。PTAからも重点を決め、学校の応援をして強く要望すべきである。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の本目標：「チーム榕城小」の同僚性を発揮し、職員相互に声をかけ合い、榕城小の職員である誇りを持ちつつ、心のブレーキをかけながら、自他共に事故・違反を絶対出さないようにする。

1 教職員のモラルの向上

(1) 計画的・継続的なサービス指導・研修の実施

- ・時季を逃さない指導と、「チーム榕城小」を意識させた指導の工夫
(もし、この事案が起きたら、子ども、職員、保護者にどんな影響がでるかを自分事として考えさせる。)

(2) 連休・長期休業前のポケット事故対応カード配布

- ・まさかの場合の事故対応マニュアル(ポケット事故対応カード)を配布し、事後対応が迅速かつ適切に行われるようにした。配布することにより、事故防止を再確認した。

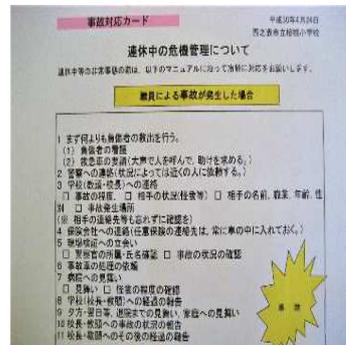
(3) ボトムアップ方式によるサービス指導の校内研修〔8月不祥事防止強化月間の取組〕

- ・担当教諭(教務主任)が中心となり、一人一人の教職員に、自分自身に関わる問題であるという意識を持たせながら、目的と進め方を確認した。

- ① 自分のこれまでの状況を振り返る。
- ② 事例〔速度超過、体罰〕を取り上げ、学年部で討議させる。
 - ・何が問題であるかを考える。
 - ・この行動による周囲(子ども、職員、保護者、家族等)への影響は何があるかを考える。
 - ・防止のために何が必要かを考える。

【感想】

- 再三の指導があるにも関わらず、このような愚かなことが繰り返されることは情けない。教職員という職業全体に関わることを自覚しなければならない。



【ポケット事故対応カードの一部】

今後の課題

- ボトムアップ方式による研修を活用し、職員のサービス規律への意識が向上してきている。今後、さらに内容を工夫し、チーム榕城小の一員である誇り(プライド)を感じさせる取組と、いざというときの心のブレーキをかけられる取組を継続していきたい。

